



## 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 第1回 DX セミナー開催案内

中小企業様向けに、少ない費用で簡単にすぐ使えるサービスをご紹介します。今回は、社内コミュニケーションで圧倒的なシェアを誇るChatwork様と働き方改革でも有名なサイボウズ様にご登壇いただき、サービスの概要やポイントなど事例を交えながらわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にご参加下さい。

- 日時:7月21日(水) 14:00~16:00 ZoomによるWebセミナー (お申込みの方に後日URLをご案内いたします)
- 参加費:無料 ■定員:100名 ■対象:中小企業の経営者や社員、ご興味のある方
- 講師/内容

### ①Chatwork株式会社 パートナーセールス部 有馬陸 氏

Chatworkは、メール、電話、会議・訪問など、仕事で必要なコミュニケーションをより効率的にするビジネスチャットです。

シンプルで使いやすい機能が評価され、約30万社以上の企業に導入いただいております。あらゆる業種・職種で働く方のコミュニケーション円滑化・業務の効率化をご支援しています。

### ②サイボウズ株式会社 東北DX推進ディレクター 武田卓也 氏

サイボウズの提供する「kintone」は、システム開発やプログラミングの知識がなくても、マウス操作で自社に最適のシステム(アプリ)を作ることができるクラウドサービスです。

Chatworkをはじめとする外部のサービスとの連携機能も充実しており、中小企業の業務改善に最適なツールです。



## マイスターズ・カレッジ2021 受講者募集

本年度は、産業用ロボットを操作するために欠かせない安全衛生特別講習や、成果を上げる業務改善の講座等を行います。

また、ロボコム・アンド・エフエイコム(株)南相馬工場や、(株)デンソー福島工場の視察研修をとおり最新鋭の技術を学びます。

お申し込み方法など詳しくは、当機構ウェブサイト等をご覧ください。皆様の参加をお待ちしています。

- 日程:8月24日(火)~11月2日(火)
- 会場:郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター等
- 参加費:5,000円 ■主催:公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 ■共催:日本大学工学部

### 製造業DX基礎コース

FA・IoT技術を学び、将来のSIer候補者となる実務者を育てる講座

■定員:10名

■対象:FA・IoT技術の活用を検討し、工場の自動化に取り組む方

### 製造業マネージャー育成コース

品質管理、原価管理等の基礎を学び技術者を育てる講座

■定員:12名

■対象:製造事業者で5年以上の経験がある方



## インキュベーションセンター新規入居企業紹介

《令和3年5月24日入居》



Global Technology

## 株式会社グローバル技研

— 業 種 —

環境機器の研究開発・製造販売・建設土木

— 代表者からの一言 —

当社は令和3年6月に創立した若い会社です。世界的なCO2削減問題に特化した事業展開で、高品質な技術とサービスの提供を心掛けております。

福島から地球環境を変える決意で取り組む所存ですので今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役  
林 英一

〒963-1165

福島県郡山市田村町徳定字中河原1番1

郡山地域テクノポリスものづくり

インキュベーションセンター5号室

代表取締役 林 英一

TEL:024-953-6571

FAX:024-953-6572

E-mail:info@g-giken.com

# 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 役員会・総会

「アフターコロナ時代の新しいものづくり」～ものづくりの地産地消へ～をスローガンに各種事業を推進

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議は5月13日(木)に役員会、6月4日(金)に総会(書面決議)を開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、総会は書面決議により行い、令和2年度事業報告及び収支決算、令和3年度事業計画及び収支予算について、原案のとおり承認されました。

また、令和3年度役員を役員会で決定し、書面にて報告しました。今年度の役員は右記のとおりです。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、会員の皆様に資する事業を推進していきます。



感染症対策をとりながら役員会を開催

なお、例年、総会終了後に開催する企業製品・成果等発表会は、新型コロナウイルス感染症の状況を判断して開催時期を検討いたします。

## 令和3年度役員

(敬称略)

最高顧問	高木茂保	エスケー電子工業(株) 取締役相談役
会長	大槻 努	作田電機(株) 代表取締役社長
副会長	水上哲夫	(有)ぱすわーど 代表取締役
委員	高橋晃一	(株)アーバン設計 代表取締役
委員	遠藤正成	(株)北斗型枠製作所 代表取締役
委員	長谷川潔	陸奥テックコンサルタント(株) 専務取締役
委員	高島伸幸	(有)エスク 代表取締役
委員	神田雅彦	神田産業(株) 代表取締役
委員	吉田尚正	(株)吉城光科学 代表取締役社長
委員	森尾和衛	日本全薬工業(株) 専務取締役
委員	益子邦雄	林器製造(株) 業務執行取締役 玉川事業所事業所長
監査	樽川久夫	アルファ電子(株) 代表取締役
監査	石橋克郎	石橋ハマプラス(株) 代表取締役

## 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 第1回ボードメンバー会議開催報告

6月16日(水)に、新型コロナウイルス感染症対策の観点からZoomを使用してオンラインにより開催しました。メンバー紹介や令和2年度の事業報告後、令和3年度の事業計画について意見交換を行いました。

## 理事会・評議員会 令和2年度決算を承認

6月10日(木)に令和3年度第1回理事会を開催し、令和2年度事業報告と決算が承認されました。さらに、6月29日(火)に定時評議員会を開催し、令和2年度事業、同決算と令和3年度事業計画、収支予算が承認、了承されました。

会議では、ものづくりインキュベーションセンターの一層の活用や産学官連携の積極的推進、今後の機構運営などについて議論されました。



## Technological Column(今月のコラム)～新技術情報などを毎月紹介します～

今月からコラムを担当いたします、技術コーディネーターの内田です。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックをきっかけに、世の中が大きく変わろうとしています。パンデミック発生後のポストコロナ社会において、「ニューノーマル」と言われるように新しい働き方が求められています。

元々、「ニューノーマル」という言葉はパンデミック発生前にも使われていました。初代「ニューノーマル」の提唱は、投資家ロジャー・マクナミー氏が2000年代初頭にネットが普及しこれまでのビジネスモデルや経済論理が適用出来なくなると論じたものです。

次の「ニューノーマル」提唱は、2009年にエコノミストのモハメド・エリアン氏がリーマンショック後の経済が回復したとしても、金融危機等の根本的課題解決が成されない限り元の社会に戻らないと述べたものです。この結果、持続可能な社会づくりが始まりました。

今、正に第3の「ニューノーマル」時代に入出し、感染リスク低減のため人との接触機会を減らすなど生活様式が変わってきており、当然ながら働き方も変革が起きています。テレワーク、オンライン会議、リモート営業等々。

当機構ではものづくり企業支援を推進する中、中小企業の皆様におかれましては色々に対応に苦慮されていると察します。

そこで皆様の事業促進の一助となればとの思いで、当機構事業の1つである「企業間の受発注促進」のマッチングプラットフォームの活用を改めてご紹介したいと思います。

次回、ものづくりメーカーマッチングプラットフォーム「Linkers(リンカーズ)」について説明します。文中参考(株)アイ・ラーニング コラムより



技術コーディネーター  
内田 吉孝

